

1. 福祉施設入所者の地域生活への移行

目標及び実績

H23年までの目標数値

H22年の実績数値

	施設入所者数 (平成17年10月 現在)	施設入所者 数 (平成23年 度末) (A)	平成23年 度までの 地域生活 移行者数	平成20年度 地域生活移 行者数	平成21年度 地域生活移 行者数	平成22年 度 地域生活移 行者数	平成21~2 2年度の地 域生活移行 者数累計	平成22年 度 施設入所者 数 (B)	達成率 (A)/(B)
松江圏域	488人	412人	93人		13人	38人	51人	450人	92%
雲南圏域	210人	167人	56人		23人	14人	37人	179人	93%
出雲圏域	393人	368人	69人		21人	2人	23人	310人	119%
大田圏域	189人	173人	31人		4人	5人	9人	175人	99%
浜田圏域	207人	174人	40人		4人	3人	7人	181人	96%
益田圏域	125人	117人	19人		6人	6人	12人	112人	104%
隠岐圏域	85人	48人	26人		2人	7人	9人	63人	76%
全 県	1,697人	1,459人 (86.0%)	334人 (19.7%)		90人	73人	75人	148人	1,470人

※()は、H17施設入所者数に対する割合

評価・分析

- ・事業所の新体系移行や、グループホーム、ケアホームの整備が遅れているために、地域移行が進んでいない圏域があるが、全体としては、概ね順調に進んでいる。
- ・施設入所者数は、圏域でのバラツキはあるものの、概ね目標数値に近づいている。

今後の取り組みの方向性

- ・ケアホーム・グループホーム整備について
県では、H19からケアホームグループホーム整備事業を実施し、計画的に整備を進めており、今後も同事業を活用し、整備を進めていく。
- ・新体系サービスの基盤整備について
障がい者が身近な地域でサービスを利用できるよう、訪問系サービス、日中活動系サービスの基盤整備を促進する。
旧体系施設については、平成23年度末の移行期限に向けて、基金事業等を活用するとともに、個別事業所への指導助言を積極的に行い、新体系の移行を促進する。
- ・障がい者の多様な住まいの場を確保するための、居住支援(居住サポート事業等)への取り組みを各市町村に働きかける。
- ・相談支援事業、地域自立支援協議会の充実強化を図り、障がい者を地域で支える体制の整備を進める。